吾妻山の火山活動解説資料（平成 22 年９月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

大穴火口の噴気活動はやや高い状態が続いています。火山性地震はやや多い状況となりました。
地殻変動に特段の変化はなく、ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。引き続き、火口内では火山ガスの噴出等がみられますので警戒が必要です。
平成 19 年 12 月１日に噴火予報（噴火警戒レベル１、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図２～３）

上野寺（大穴火口の東北東約 14km）に設置してある遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）からの噴気の高さは、50～600ｍで推移し、噴気活動はやや高い状態が続いています。

・地震や微動の発生状況（図４）

火山性地震は、2009 年 10 月から 2010 年７月にかけてやや多い状況で推移し、８月は少ない状況となりましたが、９月は再びやや多い状況となりました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図５～６）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

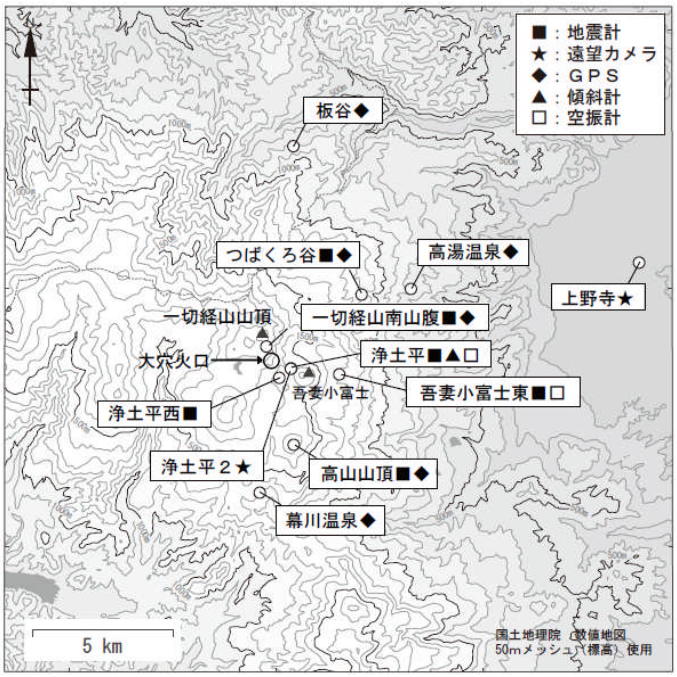

図１　吾妻山　観測点配置図
（小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。）
＊運用開始前の観測点も含んでいます。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（http://www.jma-net.go.jp/sendai/）や、気象庁ホームページ（http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 10 月分）は平成 22 年 11 月９日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50ｍメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

図２　吾妻山　大穴火口からの噴気の状況（９月５日 17 時 07 分頃）
福島市上野寺（大穴火口から東北東約 14km）に設置した遠望カメラによる。
大穴火口からの白色噴気の高さは一時的に 600ｍ。（当時は無風に近い状態）

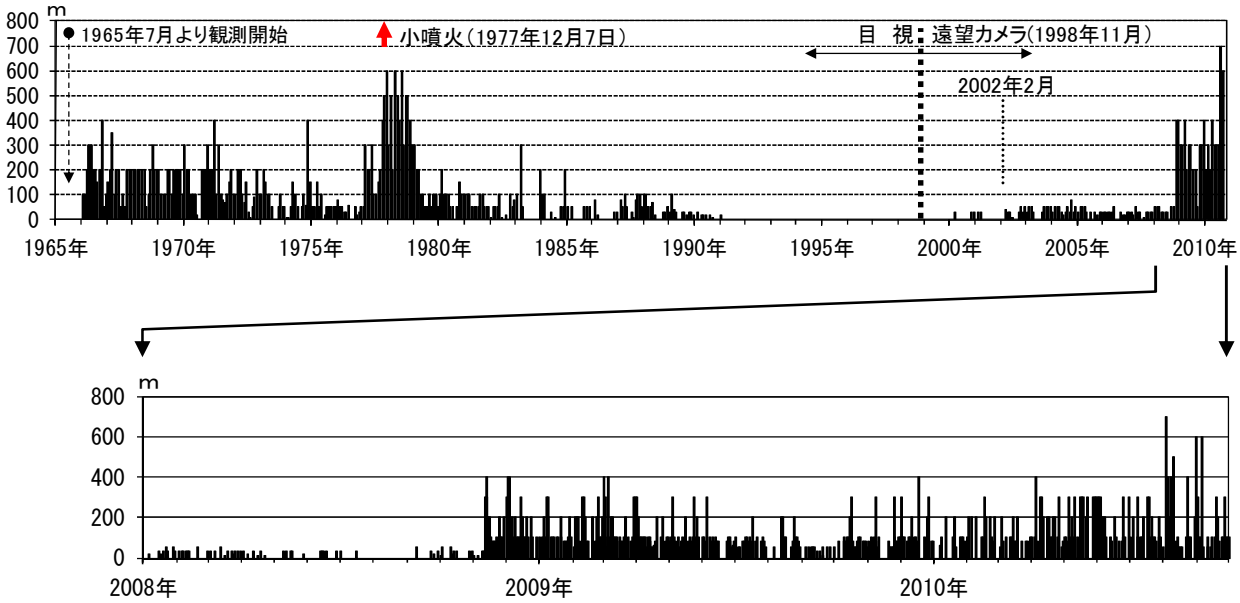

図３　吾妻山の噴気の高さ　上段：月別最大噴気（噴煙）高（1965 年７月～2010 年９月）
下段：日別最大噴気高（2008 年１月～2010 年９月）
1998 年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約 20km）からの目視観測です。
1998 年から遠望カメラ（大穴火口の東北東約 14km）による観測です。
2002 年２月以前は定時(09 時、15 時)及び随時観測による高さです。
2002 年２月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。
2010 年８月３日に一時的に 700ｍ、８月 31 日、９月５日に一時的に 600ｍを観測しました。

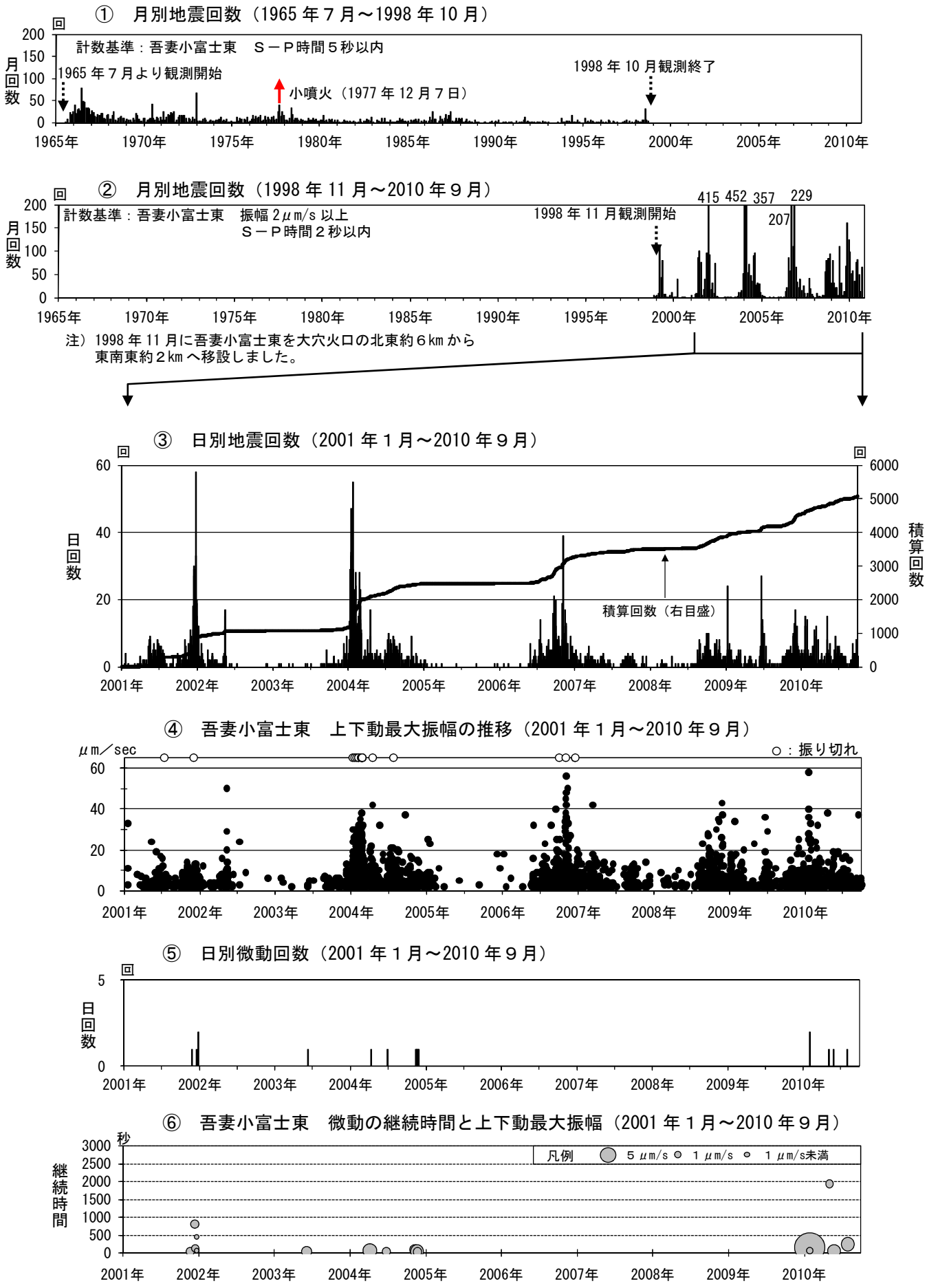

図４　吾妻山　地震活動経過図

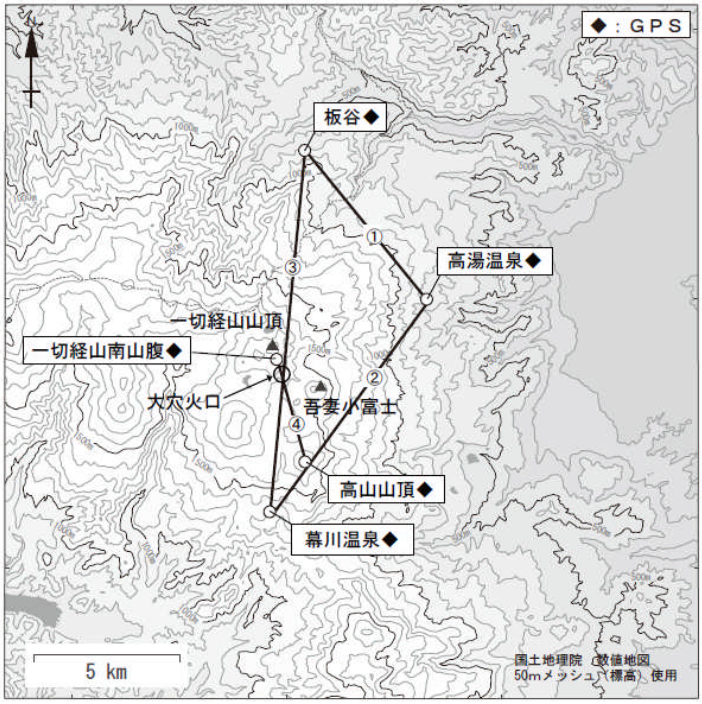

図５　吾妻山　GPS 観測点配置図

GPS 基線①～④は図６の①～④に対応しています。

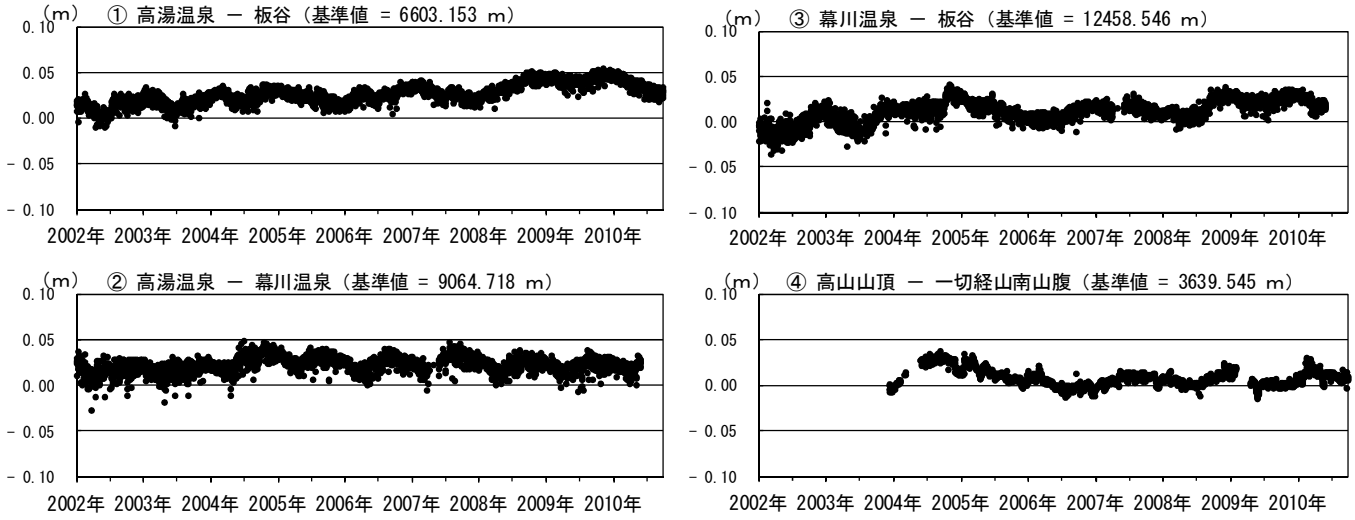

図６　吾妻山　GPS 基線長変化図（2002 年１月～2010 年９月）

①～④は図５の GPS 基線①～④に対応しています。

幕川温泉観測点と高山山頂観測点が障害のため、一部に欠測があります。